

令和 8 年度新潟県高等学校 P T A 連合会・安全互助会総会（ご報告）

令和 8 年 6 月 5 日（金）に県高 P 連総会及び県高 P 安全互助会社員総会を新潟市にあるホテルイタリア軒にて開催いたしました。

開会式では、県教育委員会教育次長 鶴巻 勝 様からご祝辞を頂戴し、議案審議では、令和 7 年度事業報告並びに決算報告、役員改選（坂爪麻奈 新会長が選出されました）、令和 8 年度の事業計画並びに予算案について審議され、全ての議案が原案どおり可決・承認されました。

また、P T A 活動の発展に尽力された 31 名の方へ感謝状の贈呈を行いました。後半は 4 校の提案発表、講演会を行い、会員相互の研修と親睦を深める一日となりました。



○提案発表と協議

- ・ 伝統を力に、地域と未来へつなぐサポートの輪
 - ・ 『自分色』をサポートする P T A 活動
 - ・ 塩沢商工高等学校の P T A 活動について
 - ・ 新潟県立新井高等学校 P T A 活動の紹介
- 新発田商業高等学校 P T A
市立明鏡高等学校 P T A
塩沢商工高等学校 P T A
新井高等学校 P T A

○講演会 「産学共創で考えるこれからの教育のあり方」

講師 株式会社 M G N E T（マグネット）

代表取締役 武田修美 氏

本業に加え、大学教授、写真家、小中高の探究学習に携わるなど多方面で活躍されている武田氏をお迎えし、これからの教育のあり方について、お話を伺うことができました。

武田氏は、社員教育や大学の講義において、「伝える」ことよりも「伝わる」環境を作ることが重要であると指摘。押し付けの知識ではなく、受け手が心の底から「知りたい」と思えるような経験や繋がりを構築することの大切さを語られました。また、海外に出てみると「あなたのルーツ（Roots）は？」と頻繁に問われる経験に触れ、一般的に「根源」や「起源」と訳されるルーツについて、ビジネスの場では単に「どこで生まれたか」を意味するものではないと言及。「誰と出会い、どんな言葉と出会い、誰と一緒に歩んできたか」という『軌跡』こそがその人のルーツであり、仕事をする上で極めて重要な要素であると説かれました。

さらに、各校で取り組む探究学習については、教員だけで担うのは限界があるため、地元企業や周囲の大人たちの力を積極的に借りるべきだと提案。一歩踏み込んだ「探究の時間」を共に創っていきたいと呼びかけ、講演を締めくくられました。

